

世界6資産均等分散ファンド (毎月分配型) (愛称：ベストシックス)

<3069>

追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：世界6分散

第160期	2019年10月7日決算	第163期	2020年1月6日決算
第161期	2019年11月6日決算	第164期	2020年2月6日決算
第162期	2019年12月6日決算	第165期	2020年3月6日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の債券、株式およびリート（不動産投資信託）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第165期末	基準価額	9,812円
	純資産総額	594百万円
第160期～第165期	騰落率	△0.0%
	分配金合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0306920200306◇

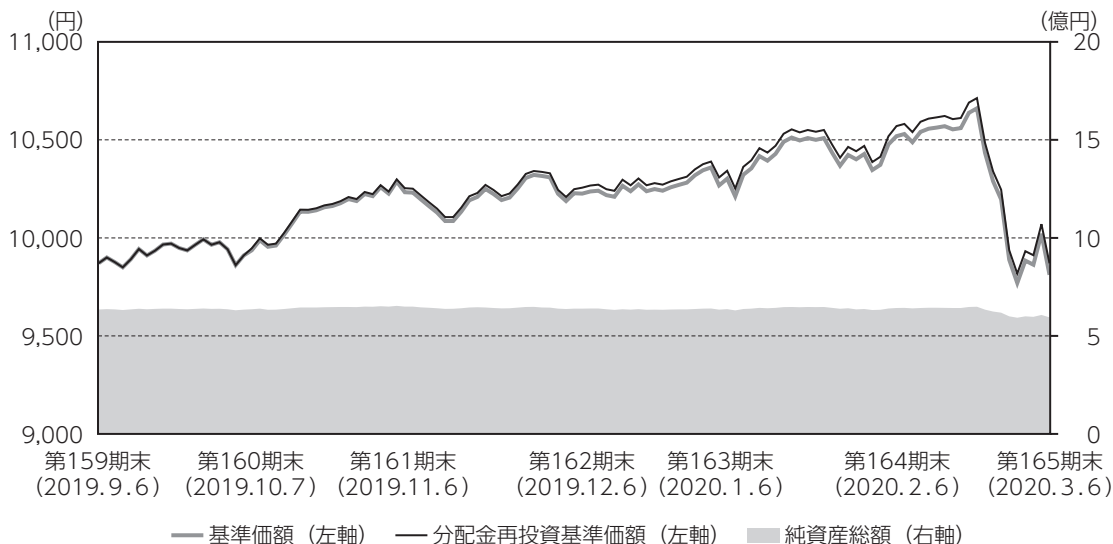
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第160期首：9,871円

第165期末：9,812円（既払分配金60円）

騰落率：△0.0%（分配金再投資ベース）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	2.6%	17.7%
ダイワ日本国債マザーファンド	△0.6%	17.4%
ダイワ外国ハーモニースtock・マザーファンド	1.3%	16.0%
ダイワ日本ハーモニースtock・マザーファンド	△2.4%	15.1%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	3.5%	16.5%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	△1.4%	16.3%

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、株式およびリートに投資した結果、主に国内リート市況や国内株式市況が下落したことがマイナス要因となり、基準価額はわずかに下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	第160期～第165期 (2019.9.7～2020.3.6)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	73円	0.714%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,213円です。
(投 信 会 社)	(35)	(0.343)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.343)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.050	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.029)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(2)	(0.021)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.010	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.004)	
(投資信託証券)	(1)	(0.006)	
そ の 他 費 用	5	0.050	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.047)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	84	0.824	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

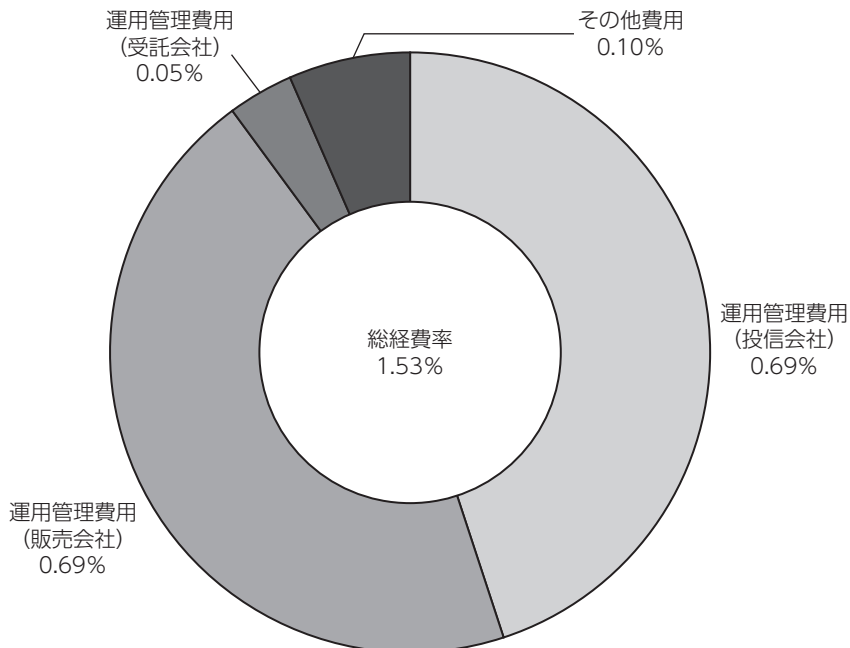
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.53%です。

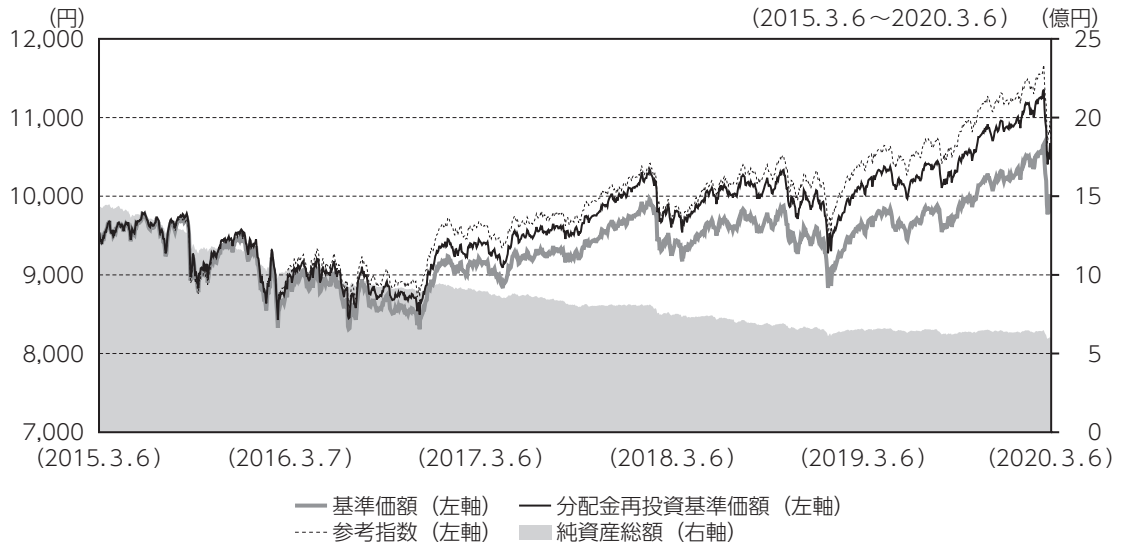


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2015年3月6日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

	2015年3月6日 期初	2016年3月7日 決算日	2017年3月6日 決算日	2018年3月6日 決算日	2019年3月6日 決算日	2020年3月6日 決算日
基準価額 (円)	9,538	8,879	9,171	9,320	9,622	9,812
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△5.7	4.7	2.9	4.6	3.2
合成指数騰落率 (%)	—	△4.4	5.9	1.0	6.9	2.9
純資産総額 (百万円)	1,448	1,038	898	747	655	594

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和投資信託が計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指数	配分比率
海外債券	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	6分の1
国内債券	ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数	6分の1
海外株式	MSCIコクサイ指数 (円換算)	6分の1
国内株式	TOPIX	6分の1
海外リート	S&P先進国REIT指数 (除く日本、円換算)	6分の1
国内リート	東証REIT指数 (配当込み)	6分の1

(注) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

（2019.9.7～2020.3.6）

■ 海外債券市況

海外債券市況は、ドイツなどの金利は当作成期首比でほぼ同水準となった一方で、米国などでは金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、金利は上昇傾向となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから、金利は急低下しました。

■ 国内債券市況

国内債券市況は、当作成期を通して、長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待を背景に、長期金利は上昇しました。また、日銀の追加金融緩和観測が後退したことも、金利上昇要因となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、世界的に景気減速懸念が高まったことや市場のリスク回避姿勢が強まったことから、長期金利は低下しました。

■ 海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

当作成期首から2019年10月末にかけての海外株式市況は、米中通商協議の動向に左右されて一進一退の推移となりました。しかしその後は、米中閣僚級協議で両国が通商問題の部分合意に至ったことが好感されたほか、米国が米中通商協議における第1段階合意の内容を一部公表したことで、株価は大きく上昇しました。特に、市場が懸念していた2019年12月に発動予定であった対中追加関税が回避されたことに加え、米国が既存の対中関税の一部引き下げも発表したことで株式市場に安心感が広がり、株式市場全体の上昇をサポートしました。しかし2020年1月半ば以降は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から市場のリスク回避姿勢が強まり、上昇幅は大きく縮小しました。

■ 国内株式市況

国内株式市況は下落しました。

国内株式市況は、当作成期首より、米国が連続利下げを実施したことで過度な景気後退懸念が和らいだことや、米中間で通商問題の部分合意がなされたことなどが好感され、株価は上昇しました。しかし、2020年1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染が拡大したことに続き、2月後半には中国以外における新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたことや米国株が大幅下落となったことが嫌気され、大きく下落しました。

■海外リート市況

海外リート市況は、地域別でまちまちな展開となりました。

米国では、主要リートの好調な業績見通しや米国の金融緩和姿勢の継続などを反映して堅調に推移しましたが、2020年2月下旬に新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気され、大幅下落となりました。欧州では、EU（欧州連合）離脱に伴う懸念後退から英国は上昇しましたが、新型コロナウイルスの感染者が急増したイタリアは下落しました。アジア・オセアニアでは、良好な不動産市況を受けたオーストラリアは上昇しましたが、民主化デモや新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念された香港は低調なパフォーマンスとなりました。

■国内リート市況

国内リート市況は下落しました。

国内リート市況は、当作成期首より2019年10月末まで上昇基調が続きました。世界的に金融政策が緩和方向となる中で各国の長期金利が低下し、国内リート市況の相対的に高い配当利回りに注目が集まり、上昇しました。11月に入ると、米中通商協議の進展などを背景に投資家がリスク選好姿勢に転じる中で、上昇が続いていた国内リート市況は利益確定売りなどにより下落しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大により投資家が緩やかなリスク回避姿勢となる中で、資金逃避先となった国内リート市況は上昇しました。2月下旬以降は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速への懸念が投資家のリスク回避姿勢を強める中で下落に転じ、当作成期末にかけて乱高下しました。年明け以降は堅調な推移が続いたことから利益確定売りが出たことも、下落幅拡大に影響しました。

■為替相場

為替相場は、おおむね横ばいから下落（円高）となりました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で円安傾向となり、特に英ポンドが上昇しました。2020年1月半ば以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから円高傾向となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、株式およびリートに投資を行います。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワ日本国債マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド…純資産総額の6分の1
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド…純資産総額の6分の1
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド…純資産総額の6分の1

■ **ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド**

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外の国債を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合は各通貨の市場動向や経済環境などの評価に応じて変動させます。ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とします。

■ **ダイワ日本国債マザーファンド**

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額が同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

■ **ダイワ外国ハーモニースtock・マザーファンド**

海外株式の中から、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資します。今後の海外株式市況については、米中貿易摩擦をめぐる不透明感や世界景気の減速懸念などを背景に神経質な展開が続くと想定しています。一方で、米国の景気は好調な個人消費に支えられ堅調に推移しています。また、主要国の中央銀行による金融緩和や政府の景気刺激策への期待が株式市場の支援材料になると考えています。

■ **ダイワ日本ハーモニースtock・マザーファンド**

日本総研が行う企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。また、株価水準、流動性、分散なども考慮します。

■ **ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド**

安定的な配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

※C&S：コーペン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

■ **ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド**

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

ポートフォリオについて

(2019.9.7～2020.3.6)

■当ファンド

各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、株式およびリートに投資を行いました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめぐりに投資を行いました。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワ日本国債マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワ外国ハーモニースtock・マザーファンド…純資産総額の6分の1
- ・ダイワ日本ハーモニースtock・マザーファンド…純資産総額の6分の1
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド…純資産総額の6分の1

■ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

債券は、海外の国債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲の中で変動させました。通貨の投資割合は、ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度としつつ、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、当作成期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行いました。

■ダイワ外国ハーモニースtock・マザーファンド

外部調査機関による企業の社会的責任に関する調査等を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、海外株式の中から中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資しました。株式組入比率は、米国を中心に企業業績が堅調に拡大すると想定し、おおむね90%程度以上の高位を維持しました。個別銘柄では、業績見通しや株価水準、株価バリュエーション等を総合的に勘案して、MICROSOFT CORP（米国）、APPLE INC（米国）、AMAZON.COM INC（米国）、ALPHABET INC-CL C（米国）などを組入上位としました。

■ダイワ日本ハーモニースtock・マザーファンド

日本総研から提供される調査情報をもとに、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄に投資しました。株式組入比率は、中長期的な国内景気や企業業績は堅調との想定のもと、90%程度以上を維持しました。業種構成は、電気機器、サービス業、機械などの組入比率を高位にしました。個別銘柄では、ダイキン工業、ソニー、信越化学などを組入上位としました。

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。信託財産の中長期的な成長をめざし保有不動産の価値などと比べて魅力的であるとする銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では大きなリスクを取らず各地域に分散して投資を行いました。米国では好調な労働市場から恩恵を受けるとみられる住宅リートなどに注目しました。欧州では、ロンドンからの代替需要が期待される域内主要都市のオフィスを保有するリートに、アジア・オセアニアでは、オーストラリアの産業施設リートなどに注目しました。

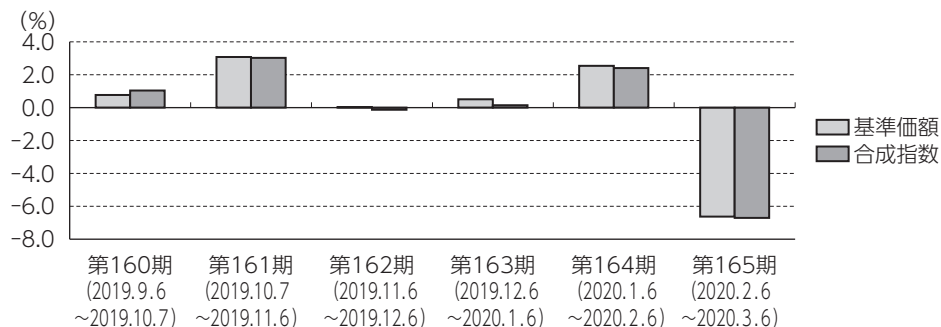
■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95~98%台程度で推移させました。また、東証REIT指数先物への投資も行い、先物と合計で95~100%程度で推移させました。リート銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、当作成期を通じてみると、大和ハウスリート、森ヒルズリート、ケネディクス・オフィスなどを東証REIT指数と比較してオーバーウエートとし、ユナイテッド・アーバン、日本プロロジスリート、日本アコモデーションファンドなどをアンダーウエートとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（合成指数）との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
	2019年9月7日 ～2019年10月7日	2019年10月8日 ～2019年11月6日	2019年11月7日 ～2019年12月6日	2019年12月7日 ～2020年1月6日	2020年1月7日 ～2020年2月6日	2020年2月7日 ～2020年3月6日
当期分配金（税込み）（円）	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率（%）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.10
当期の収益（円）	10	10	4	10	10	10
当期の収益以外（円）	—	—	5	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	422	544	539	580	831	832

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 22.65円	✓ 12.70円	✓ 4.22円	✓ 17.79円	✓ 12.97円	✓ 11.61円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	119.48	0.00	33.62	247.92	0.00
(c) 収益調整金	55.01	55.03	55.06	55.10	55.13	55.19
(d) 分配準備積立金	354.91	367.53	✓ 489.70	483.90	525.29	776.13
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	432.57	554.77	549.00	590.42	841.33	842.94
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	422.57	544.77	539.00	580.42	831.33	832.94

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、株式およびリートに投資を行います。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- ・ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワ日本国債マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド…純資産総額の6分の1
- ・ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド…純資産総額の6分の1
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド……………純資産総額の6分の1
- ・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド…純資産総額の6分の1

■ **ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド**

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外の国債を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合は各通貨の市場動向や経済環境などの評価に応じて変動させます。ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とします。

■ **ダイワ日本国債マザーファンド**

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

■ **ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド**

外部調査機関による企業の社会的責任に関する調査等を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取り組みに着目し、海外株式の中から中長期的に企業価値の向上が期待される銘柄を選定します。また、株価水準、流動性、分散等を考慮し、ポートフォリオを構築します。

■ **ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド**

日本総研が行う企業の「社会的責任」に関する調査を参考に、持続可能なより良い社会への企業の取り組み状況を評価するESG（環境・社会・ガバナンス）スコア等に注目したポートフォリオ運営を行っていく方針です。世界的な大きな潮流として社会的責任に関する意識が高まっていることから、企業はESG情報の開示を進め、投資家はESGに注力している銘柄や指数を重視する傾向になると想定しています。また、ESGスコアの高い企業は自己資本コストや信用リスクが相対的に低くなる傾向にあり、資金調達コストや業績ボラティリティが抑えやすくなることでROE（自己資本利益率）の改善を伴ったリターンが期待できると考えています。

■ **ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド**

安定的な配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

■ **ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド**

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。



お知らせ

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。



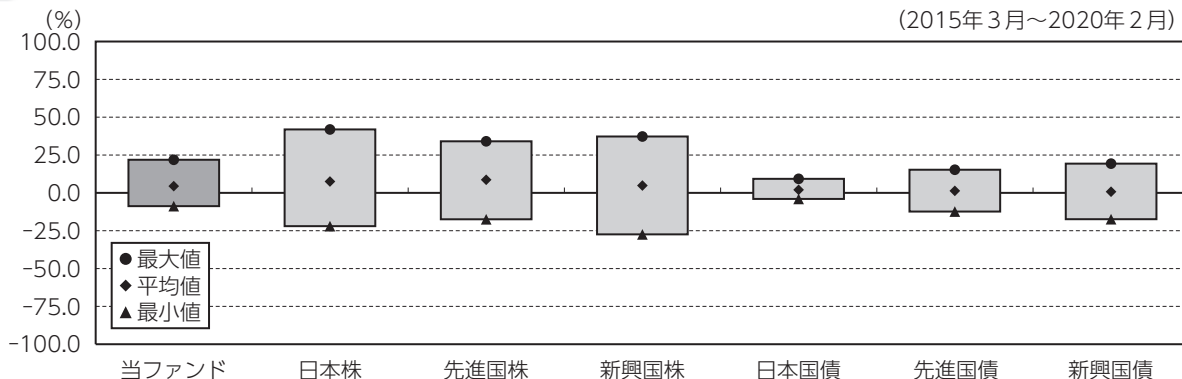
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	内外の公社債等
	ダイワ日本国債マザーファンド	わが国の公社債
	ダイワ外国ハーモニー ストック・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ日本ハーモニー ストック・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
	ダイワ・グローバル REIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REIT アクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
ベビーファンド の運用方法	①主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、株式、および不動産投資信託証券に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。	
	②各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行ないます。ただし、市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。 ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の6分の1 ダイワ日本国債マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の6分の1 ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の6分の1 ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の6分の1 ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の6分の1 ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の6分の1	
分配方針	③保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。	
	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざして分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して売買益（評価益を含みます。）等を中心に6月と12月の計算期末に分配する場合があります。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

※FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.9	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
平均値	4.5	7.5	8.6	4.9	2.0	1.3	0.8
最小値	△8.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



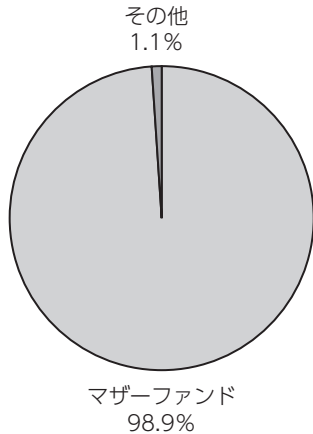
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

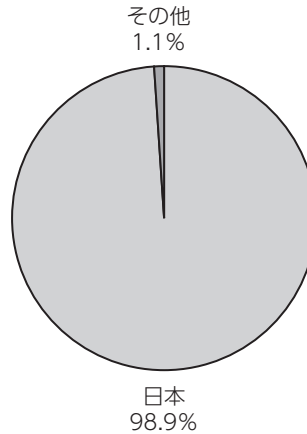
組入ファンド等

	比率
ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	17.7%
ダイワ日本国債マザーファンド	17.4%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	16.5%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	16.3%
ダイワ外国ハーモニーストック・マザーファンド	16.0%
ダイワ日本ハーモニーストック・マザーファンド	15.1%
その他	1.1%

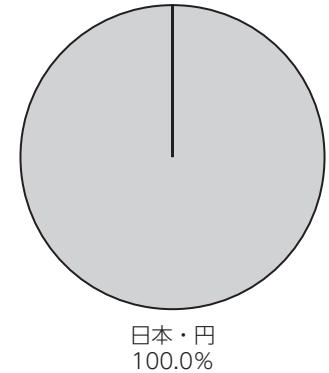
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2020年3月6日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	第160期末	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末
	2019年10月7日	2019年11月6日	2019年12月6日	2020年1月6日	2020年2月6日	2020年3月6日
純資産総額	635,709,234円	649,729,419円	639,339,239円	634,265,240円	642,028,189円	594,366,801円
受益権総口数	639,757,448口	634,957,592口	625,205,148口	617,692,968口	610,339,367口	605,729,264口
1万口当り基準価額	9,937円	10,233円	10,226円	10,268円	10,519円	9,812円

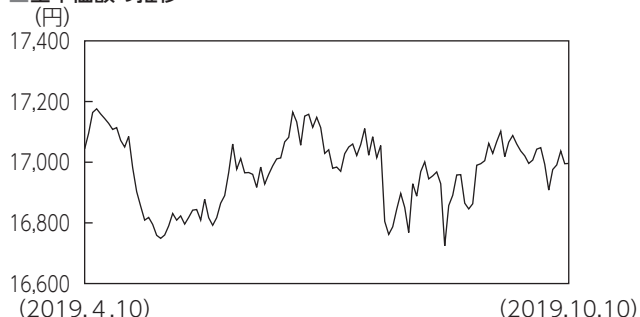
* 当作成期間（第160期～第165期）中における追加設定元本額は247,300円、同解約元本額は37,458,012円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド（作成対象期間 2019年4月11日～2019年10月10日）

■基準価額の推移



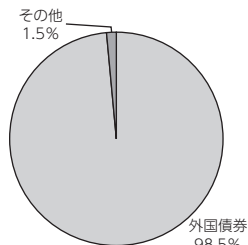
■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		—円
有価証券取引税		—
その他費用 (保管費用)		3 (3)
(その他)		(0)
合	計	3

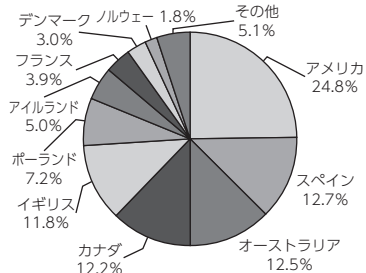
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
SPANISH GOVERNMENT BOND 1.95% 2026/4/30	ユーロ	7.7%
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 4.5% 2033/4/21	オーストラリア・ドル	7.6
United States Treasury Note/Bond 1.625% 2026/2/15	アメリカ・ドル	6.2
United States Treasury Note/Bond 1.375% 2021/4/30	アメリカ・ドル	5.9
United Kingdom Gilt 5.0% 2025/3/7	イギリス・ポンド	5.8
United States Treasury Note/Bond 2.5% 2046/2/15	アメリカ・ドル	5.8
SPANISH GOVERNMENT BOND 1.4% 2028/4/30	ユーロ	5.0
CANADIAN GOVERNMENT BOND 1.5% 2026/6/1	カナダ・ドル	4.2
FRENCH GOVERNMENT BOND 3.25% 2045/5/25	ユーロ	3.9
CANADIAN GOVERNMENT BOND 2.25% 2025/6/1	カナダ・ドル	3.7
組入銘柄数		36銘柄

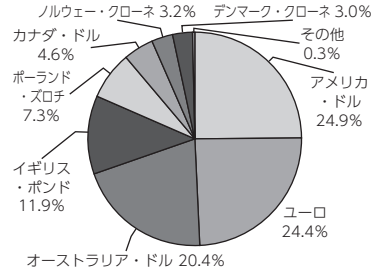
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

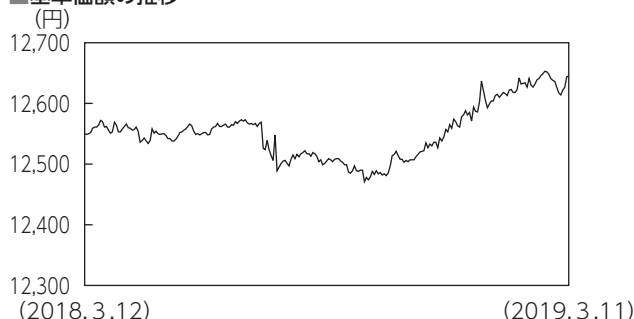
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

◆ダイワ日本国債マザーファンド（作成対象期間 2018年3月13日～2019年3月11日）

■基準価額の推移



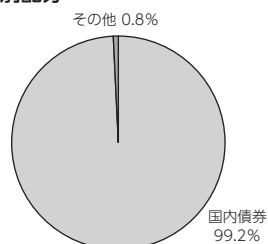
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	—

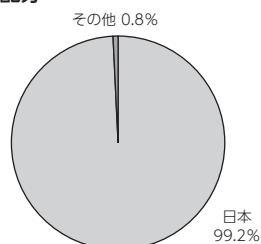
■組入上位銘柄

銘柄名	比率
12 30年国債 2.1% 2033/9/20	6.7%
7 30年国債 2.3% 2032/5/20	6.7
54 20年国債 2.2% 2021/12/20	6.7
6 30年国債 2.4% 2031/11/20	6.6
4 30年国債 2.9% 2030/11/20	6.6
1 30年国債 2.8% 2029/9/20	6.6
95 20年国債 2.3% 2027/6/20	6.5
64 20年国債 1.9% 2023/9/20	6.2
48 20年国債 2.5% 2020/12/21	6.2
43 20年国債 2.9% 2019/9/20	5.9
組入銘柄数	26銘柄

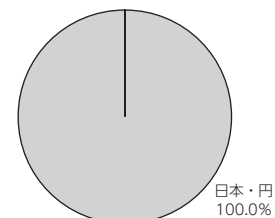
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

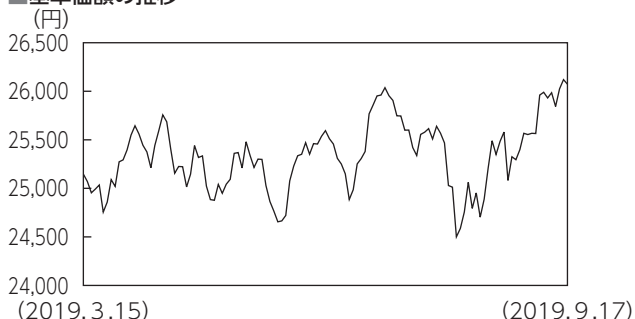
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（作成対象期間 2019年3月16日～2019年9月17日）

■基準価額の推移



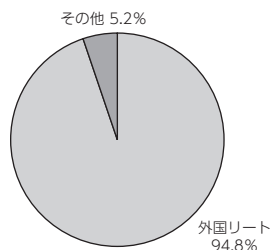
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (投資信託証券)	9円 (9)
有価証券取引税 (投資信託証券)	5 (5)
その他費用 (保管費用) (その他)	11 (5) (6)
合計	25

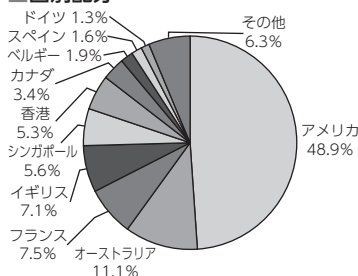
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
LINK REIT	香港ドル	4.8%
UDR INC	アメリカ・ドル	3.9
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	3.9
ESSEX PROPERTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.6
KLEPIERRE	ユーロ	3.6
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	3.3
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	2.7
MIRVAC GROUP	オーストラリア・ドル	2.6
COVIVIO	ユーロ	2.4
INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	2.4
組入銘柄数		65銘柄

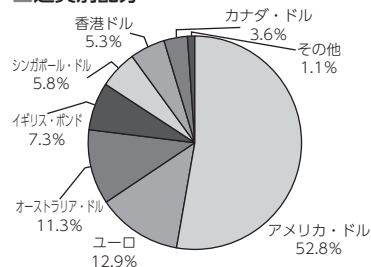
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management